

「ペットを飼いたい！」

でも、その前に考えて



ペットは私たちの生活に潤いと安らぎをもたらしてくれます。ペットの存在が、家庭内や隣人との会話を増やして人間関係を円滑にしたり、時には心を通い合わせる人生のパートナーになったりしています。

しかし、その一方で間違った飼い方をしたために、ペットの存在が逆にストレスやトラブルの元になったり、アレルギーなどさまざまな病気の原因になったりする例も少なくありません。

ペットを飼うために愛情はもちろん必要ですが、「かわいい」という気持ちだけでは飼えません。フアッションや流行だけで飼うのではなく、自分が最後まで責任をもって飼えるのか、飼い始める前によく考えましょう。

環境防災課 ☎ 84-0314

ペットを飼うには責任をもちましょう

ペットを飼うことはその一生を責任もって面倒見ることです。ペットは私たち人間と同様に命があるものですから、毎日えさを食べ、排泄をし、病気をするなどその世話は休みなく続きます。また、ペットは意志と感情を持ち、飼い主の思い通りになるとは限りません。しかし、ペットの起こしたトラブルは、すべて飼い主の責任になります。

ペットを飼う始める前に知っておくべきこと

飼い主は、ペットが快適で健康に暮らせるようにするとともに、社会や近隣に迷惑をかけるないようにする責任があります。人と動物がともに生きていくことのできる社会の実現には、飼い主のモラルとマナーが必要です。

動物の習性を正しく理解し、最後まで責任をもって飼う動物はそれぞれの種類に

じた生態、習性、生理をもつ人とは違う生き物です。飼い始める前から正しい飼い方などの知識をもち、飼い始めたら動物種に応じた適切な飼育方をして、健康や安全に気を配り、最後まで責任をもって飼いましょう。

危害や迷惑の発生を防止する

フンや毛などで、近隣の生活環境を悪化させたり、公共の場所を汚したりしないようしましょう。また、きちんとしつけをして、鳴き声などで近隣に迷惑をかけないようにしましょう。

むやみに繁殖させない
生まれるすべての命に責任がもてないのであれば、不妊去勢手術などをお願いします。

ペットによる感染症の知識をもつ

ペットと人の双方に感染する病気について、正しい知識をもち、人への感染を防止しましょう。

所有者を明らかにする

盗難や迷子を防ぐためにも、飼っているペットが自分のものであることがわかるように、犬の場合は鑑札、その他の

ットには名札などを付けましょう。

ペットを飼けなくなった原因に次のような理由が挙げられます

- ・ 次のような理由でペットを飼えなくなったということが挙げられます。
- ・ 引越
- ・ アレルギー症状が出た
- ・ 近所から鳴き声などの苦情が来た
- ・ 病気や高齢になったペットの介護が負担になった
- ・ 飼い主が亡くなった

飼い始めた日からペットの命を預かる責任

命は飼い主に委ねられます。毎日の世話、住居環境、経済的状況など、もし、不安的要素があるのなら、今は飼うのを控えましょう。「こんなに大変だとは思わなかった」「忙しくて世話ができない」「かわいくなかった」など人はいくらでも言い訳ができますが、ペットは話すことも飼育主を選ぶこともできないのです。飼い主の責任の代償はペットがその命で払うことにもなります。「好きだから今は飼わない」「飼えるようになるまで我慢する」というのも愛情の一つです。

ペットが天寿を全うするまで、ともに過ごす喜びをもって飼い続けることができるか、ペットを幸せにしてやれるか、その努力を続けることができるか、もう一度自分に問いかけてみてください。

ペットを飼う本当の楽しさは、責任と努力の向こうにあるのです。

シベリアンハスキーの悲劇

十数年前、シベリアンハスキーが大人気となり、日本各地の家庭で飼われ、ペットショップの店頭にも多くの子犬が並びました。しかし、数年後には大きくて手がかかってしまい飼いきれないという理由で、自治体の動物保護センターにたくさんシベリアンハスキーが持ち込まれたり、捨てられたりしました。今では街中でシベリアンハスキーを見かけることはめっきり減りました。

シベリアンハスキーは犬を引いて雪の中を何十キロも走る犬種ですから、大型で力が強く、走ることが大好きで大量の運動を必要とします。寒さに強い反面、暑さに弱く、住宅密集地で飼うにはあまり向いていない犬種であることは明らかでした。

あの時、シベリアンハスキーを飼おうと考えた人が、本当に自分のライフスタイルにあった犬種なのか冷静に考えれば、天寿を全うすることなく消えていった多くの命が救われたはずなのです。

11のポイント

- 飼う前に考えよう!
- ①あなたの住まいはペットを飼える住居ですか。転勤や引っ越しの予定はありませんか。
 - ②あなたの飼いたいペットは、あなたのライフスタイルに合っていますか。
 - ③あなたの家族は全員動物を飼うことに賛成していますか。
 - ④家族にアレルギー体質の人はいませんか。
 - ⑤毎日欠かさず、世話に時間と手間をかけられますか。
 - ⑥あなたの体力で世話ができるペットですか。
 - ⑦近隣に迷惑をかけないように配慮できますか。
 - ⑧きちんとしつけができる自信がありますか。
 - ⑨ペットの一生にかかる費用を考えてみましたか。
 - ⑩生涯にわたる計画を立ててみましたか。
 - ⑪万一飼えなくなったときのことを考えていますか。

